

極秘

寺内

黒田 スミ

青木

印度東北部ニ對スル防衛地域擴張ニ關スル意見

昭和十七年八月五日

南方軍總司令部

614

1706

意見

南方軍ハ一部ヲ以テ印度東北國境方面

ニ防衛地域ヲ擴張スルヲ必要トスル意見

ナリ

理由

一「カルカッタ」方面ニ於ケル敵航空勢力ノ

擡頭ハ大東亞西邊防衛上ノ脅威ナルノ

615

1707

ミナラス航空援蔣路ノ封鎖並對印度
工作上障礙ヲ呈シ來レリ

乃チ南方軍ハ夙ニ「カルカッタ」方面ニ對ス

ル航空作戰ヲ準備シ雨期ノ終末ヲ待

ツコトナク機ニ投シテ航空擊滅戰ヲ

實施スルノ企圖ヲ有スル次第ナリ

然ルニ本企圖ヲ遂行センカ爲ニハ少ク

500' 616

モ緬印國境方面ニ航空基地ヲ推進ス
ルコト最モ緊要ニシテ今次南方作戰ニ
於ケル幾多ノ教訓ニ鑑ミルモ基地ノ推
進ハ航空作戰成否ノ根本要因ニ關ス
故ニ萬難ヲ排シテ地上作戰ヲ併用シ以
テ「インパール」及「チタゴン」方面ヲ確保ス
ルヲ要ス

617

1709

而シテ我軍カ「インパール」方面ニ進出セハ
上部「アッサム」地方ヲ經由スル敵ノ航空
輸送路ヲ遮斷スルコトヲ得ヘシ

ニ印度東北部ニ對シ敵ノ集中シ得ル兵
カハ固ヨリ豫斷シ難シト雖モ全般ノ
情勢ニ鑑ミ目下即急ニ使用シ得ル兵
カハ概ネ十ヶ師團内外ト判斷セララル

然レトモ其ノ戦闘力ニ至リテハ過般^{トビ}
ルマ^レ作戰ニ於ケル實力ニ想到スルモ推
シテ知ルヘキモノアリ故ニ印度東北部ニ
對スル作戰ハ南方軍現有兵力ノ一部ヲ以
テ其ノ目的ヲ達成シ得ヘシト信ス

三 本作戦實施後ニ於ケル狀況ノ變轉ニ關シ
テハ今遽カニ斷定シ能ハスト雖モ今後ニ

619

1711

於ケル一般情勢ノ推移ヲ考察セハ恐ラク

該方面ニ多大ノ兵力ヲ吸收セラルルカ如キ

虞少シト信ス

620

1712